

産学協力研究委員会「日本におけるケミカルバイオロジーの新展開第 189 委員会」
第 4 回定例会 幹事会議事抄録

日時：平成 28 年 3 月 2 日（水）13:30-14:30

場所：大手町サンケイプラザ 2F 201 号室 東京都千代田区大手町 1-7-2

出席者：【敬称略】

長田 裕之(理化学研究所) 穴澤 秀治(バイオインダストリー協会)
浅見 忠男(東京大学) 阿部 圭一(サントリーグローバルイノベーションセンター)
上村 大輔(神奈川大学) 遠藤 正志(L S I メディエンス) 永野 栄喜(住友化学)
櫻井 邦弥(味の素製薬) 横田 博之(アステラス製薬) 平野 弘之(理化学研究所)

議事内容：

(1) 前回 第 3 回（平成 27 年 12 月 8 日）議事録 資料 1 の確認

(2) 「平成 28 年度の活動について」

○平成 28 年度の委員会活動は 6 月、10 月、12 月、3 月を予定し

開催候補日程を委員各位にメールにて伺う調整する

(会議開催後 メール連絡により調整の上、下記定例会日程を連絡(3 月 15 日)した。)

<平成 28 年度 第 189 委員会 定例会日程>

第 1 回定例会（東京）	2016 年 6 月 10 日（金）午後
第 2 回定例会（地方 1 泊予定）	2016 年 10 月 26 日（水）～27 日（木）
第 3 回定例会（東京）	2016 年 12 月 7 日（水）午後
第 4 回定例会（関西予定）	2017 年 3 月 1 日（水）午後

○10 月 地方 1 泊予定の開催地

合成物質による世界最初の化学療法剤サルバルサン(606 号)をパウル・エールリヒとともに開発し 1911 年にノーベル化学賞と 1912 年・1913 年にノーベル生理学・医学賞の候補に挙がっていた秦佐八郎の縁の地を候補とした・

(会議開催後 秦佐八郎の記念館等の所在は島根県益田市美都町を確認
森鷗外記念館(島根県鹿足郡津和野町町田)と検討)

○国際シンポジウムについて

上杉委員より奈良ホテルを会場として企画案紹介 配布資料にて説明

(平成 28 年度募集の JSPS 事業に応募し採択後の開催年度は平成 29 年度(2018)となる)

(会議開催後)

担当委員により海外からの講演者の候補推薦、要望また、自ら参加するベンチャー企業の紹介を企業から聴取し、横田委員が取りまとめることとなった。)

その他

○来年度新入会

・櫻井 香里 特任准教授 東京農工大学工学府 生命工学専攻

- ・荒井 緑 准教授 千葉大学大学院薬学研究院活性構造化学
御兩名が平成28年度より参画されることを報告した。

(会議開催後)

学界委員として

- ・油谷 浩幸先生 東京大学先端科学技術研究センター 教授
- ・藤本ゆかり先生 慶應義塾大学 理工学部化学科生体分子化学研究室 教授
産業界委員として

JSRライフサイエンス株式会社 執行役員 技術統括部長 宮本 秀俊 氏
の推薦があった、幹事会委員に賛否確認し異なく 平成28年度より参画頂く予定。

○平成28年度特別事業「知識や技術の伝承等とりまとめ経費」申請状況

第4回委員会開催日(3月2日)では採否は決まっておらず、4月頃となることを連絡。

(会議開催後)

3月29日 採択された旨連絡あり。

○会報誌について

発表各委員より送付された要旨をとりまとめ作成中

○平成27年度活動報告

【第一次締切】 平成28年3月7日(月)

※1月31日時点の状況をご報告。

活動報告のポンチ絵には「高峰讓吉先生」の写真を掲載する。

以上

終了後 大手町サンケイプラザ 3F 304号室にて委員会開催